

## 8-4-28 品質向上専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 活動の目的

品質の確保・向上について、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

#### (2) 委員会の開催

- ・専門委員会の開催：11回

#### (3) マネジメントセミナーへの参加

- ・開催時期：平成30年7月
- ・開催地：当協会9支部の9会場
- ・主催：マネジメントシステム委員会
- ・セミナー参加者：全会場で1,248名（その内86名は発注者）

当委員会のプログラムは、第5講「品質の確保・向上に向けて」「工程管理で品質をつくる」とし、60分の講演を行った。

#### (4) セミナー第5項の評価(アンケート結果より)

セミナー参加者へのアンケートでは、発表内容に関して「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が96%（昨年度95%）と高い評価を得ており、講師の説明でも「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が94%（昨年度96%）と、昨年に引き続き高い評価となっている。この評価は、ヒアリングで得られた具体の事例に重点を置いた内容と、事前のプレゼンテーション準備に時間を割いた結果と考える。自由意見では、実務に直結する身近な事例がわかり易かったという意見が多くあった一方、条件確定の遅れなどの課題や解決策紹介を望む意見もあった。

- ① 工程管理とミス防止の事例や方法が大変役に立った。
- ② テーマや工夫などについてわかり易くまとめているが、もう少し具体例や事業の補足説明があってもよかった。

#### (5) 勉強会の開催

品質向上専門委員会活動として、協会会員向けに以下の勉強会を開催した。

- 開催日：平成31年2月28日(木)
- 場所：当協会本部7階会議室
- 講師：野中賢氏  
(日経コンストラクション編集長)
- テーマ：ヒューマンエラーから学ぶ

講演では、会計検査での傾向や設計ミスの最近の事例から、ヒューマンエラーに起因する事例をピックアップし、掘り下げて紹介された。

この講演と質疑を通じて、ヒューマンエラーの防止に向けて、ミスの要因を個人または組織に分類し対応すること、エラーを隠さない組織風土の醸成や仕事を見える化するなどについて、その重要性を改めて認識することができた。

#### (6) 品質向上施策の検証と新たな施策の検討

平成30年6～10月に、合同現地踏査や条件明示チェックシートなど、品質向上に向けた様々な施策について、その運用実態や効果を検証し、有効性や課題を整理し、改善策を検討した。この成果は「未来塾」の資料に反映されている。

### 2. 次年度の活動について

令和元年度は、詳細設計業務に対して会員企業の若手技術者の日々の業務執行での工夫や悩みなどをアンケートとヒアリングで調査し、品質向上との関連性を分析、とりまとめを行い、令和元年度マネジメントセミナー（7月開催予定）での発表を予定している。資料は当協会HPで紹介し、協会の「品質ブランド」の確立を目指す。

また、次年度も会員企業の取り組みについて継続的な調査を予定しており、さらに、異業種事例をも視野に入れた品質向上に関する勉強会の実施を検討する。

なお当専門委員会は、令和元年度からは組織再編により新たに設けられた品質委員会に所属することになる。

(品質向上専門委員会委員長 上田 隆)